

1. 高齢者・障害者のICT利活用の評価及び普及に関する検討会

(1) 開催要項

1. 開催の背景と目的

今年、団塊世代の多くが満 60 歳を迎えるが、このことに象徴されるように、今後 10 年で日本は世界でも例を見ない水準の超高齢社会へ移行することが確実である。また、そこでは「元気な高齢者」がこれまでにない規模で社会の主要な構成員になる、新しい社会構造が生まれる。こうした人たちの積極的な社会参加・社会貢献を可能にすることは、社会の活力を維持・向上するために不可欠である。

一方、我が国の高齢化で特徴的なのは、こうした急速な超高齢化と高度な ICT の発達が並行して進行する点にある。ICT は、人間の様々な能力や活動を補完したり拡張する機能を提供することができ、適切にデザインされ提供されれば、高齢者の生活や社会参加活動を支える有効な基盤となる。

しかし、我が国では他の先進諸国に比べ高齢者層の ICT 利用率が低く、高齢者の多くが十分な ICT 利用経験やスキルを身につけていない。高齢者の ICT 利用を支援する様々な取り組みが多く地域で取り組まれているが、こうした活動への支援や、ICT スキルを高めた高齢者の活躍の場が十分に提供されていないこと等のために、活動の広がりや効果が限定的になるという問題が生じている。

こうした現状と問題認識のもとに、総務省は「高齢者・障害者の ICT 利活用の評価及び普及に関する調査研究」を実施することとなった。今年度の調査研究では、高齢者の ICT 利活用の現状とそれによる効果について調査するとともに、高齢者が ICT を積極的に利活用して様々な社会参加・社会貢献活動を進めるために必要な環境や支援の要件を明らかにする。またそうした活動の効果・成果を分析して広く広報することにより、これからの高齢社会にとっての ICT の重要性の理解を促進し、ICT を活用した高齢者・障害者の社会参加支援の取り組みの促進につなげることを目的とする。

本検討会は、上記の調査研究の計画・実施内容を検討し、適切な調査となるよう意見・助言を行うとともに、調査結果から高齢者・障害者の ICT 利活用の効果やその促進のための要件について最良の知見が得られるよう、専門的観点での分析・評価を行うことを目的とする。

2. 検討事項

- (1) 先行事例、成功事例の検討
- (2) 関係団体や高齢者に対するアンケート調査、ヒアリング調査の調査内容の検討及び調査結果の分析

- (3) 高齢者 ICT 利活用の総合的支援モデルの検討
- (4) 障害者支援の効果検証プランの検討
- (5) その他必要事項

3. 構成及び運営

- (1) 本検討会は、アライド・ブレインズ株式会社の主催とする
- (2) 本検討会は、別紙に掲げる構成員で構成する。
- (3) 11月中旬に第一回会合を開催し、平成20年3月末までに計4回の開催を予定する

4. スケジュール案

	想定検討テーマ
第一回 (11月14日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会の趣旨 ・ 事例収集調査 ・ アンケート調査設計 ・ 事例検証方法の検討
第二回 (12月中旬)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果の検討 ・ 高齢者 ICT 利活用支援の事例報告 ・ 詳細ヒアリング計画の検討 ・ 高齢者支援事例検証の実施プラン検討
第三回 (1月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細ヒアリング結果の報告 ・ 高齢者 ICT 利活用の総合的支援モデルの検討 ・ 障害者支援事例検証の経過報告 ・ 高齢者 ICT 利活用支援の事例報告 ・ 報告書の骨子検討
第四回 (3月上旬)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者支援事例検証の報告 ・ 報告書案の検討 ・ パンフレット案の検討

(2) 構成員名簿

氏名	所属等
座長	
生田 正幸	立命館大学産業社会学部教授
構成員	
内川 直人	日本電気株式会社 関東信越支社 地域情報推進部
小川 晃子	岩手県立大学社会福祉学部准教授
菰池 弘	日本テレネット株式会社 コンテンツ・コミュニケーション事業部
近藤 潔	松本市役所 総務部情報政策課
近藤 則子	老テク研究会 事務局長
田中 哲	NTTドコモ モバイル社会研究所 企画担当課長
畠山 卓朗	早稲田大学人間科学学術院教授
深見 祐弘	江戸川ふれあいネット 代表
船橋 利幸	新現役ネット 事務局
森本 登志男	マイクロソフト株式会社 Plan-J推進本部 市場開発部 部長

事務局 アライド・ブレインズ株式会社

オブザーバー 総務省 情報通信政策局情報通信利用促進課

(3) 検討会開催経緯

第1回

日時:2007年11月14日

議事: (1) 構成員紹介

(2) 座長選出

(3) 本検討会設置の趣旨と進め方について

(4) 高齢者支援に関するアンケート調査について

(5) 障害者支援に関する事例評価について

第2回

日時:2007年12月25日

- 議事:
- (1) アンケート調査の経過報告
 - (2) 障害者事支援事例評価の経過報告
 - (3) 高齢者支援の事例紹介 (松本シニアネット)
 - (4) 高齢者支援に関する事例評価及びヒアリング調査について

第3回

日時:2008年2月5日

- 議事:
- (1) 団体アンケート調査の集計報告
 - (2) 障害者事支援事例評価の経過報告
 - (3) 高齢者支援に関するヒアリング調査 経過報告
 - (4) 高齢者支援の事例紹介 (TRYWARP、モバイル社会研究所)
 - (5) 総合的支援モデルの検討
 - (6) 報告書の構成について

第4回

日時:2008年3月17日

- 議事:
- (1) 高齢者支援に関するヒアリング調査 経過報告
 - (2) 高齢者支援事例評価の報告
 - (3) 報告書案について